

# デザインも暮らしやすさも わたし好みの北欧モダン



埼玉県 / Iさん

インテリアコーディネーターとしてモデルルームや個人宅のプランニングを手がけるIさん。無理なくすっきりとこの住まいを叶え、休日は夫婦でのんびり海外ドラマを見るのが楽しみだそう。

info

[ハンドルネーム] yukey.m  
[URL] <https://roomclip.jp/myroom/339472>  
[物件コーディネート・設計・施工] リノベる。

Photo = Mitsuru Chiba Text = Akari Fujisawa

so enjoyable



テーブルコーディネートを考えながらおもてなしをするのも大好きなIさん。ご主人と一緒に立てる広いキッチンなら、夫婦の会話も弾みます。



落ち着いたトーンの白が  
住まいを上質に



⑤「大きな枝ものがあると空間がパツと明るくなる」と、この日はドウダンツツジをダイニングに。  
⑥リビングと廊下を隔てる引戸はLIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラック。敷居のいらぬ

上吊り式にしたことで、スペースの効率化はもちろん、掃除もスムーズです。⑦ダイニングや寝室など、収納スペースの建具はすべてLIXILのプレシャスホワイトを選びました。「マットな質感

と落ち着いた白が上品。ラシッサシリーズはデザインが主張しすぎず、北欧モダンの空間に合わせやすいところも好きです。思い描いていたイメージに合う建具でした」



①ダイニング側から望むリビング。寝室との間の壁に大きな室内窓を設けたおかげで、光と風が通り抜ける開放感たっぷりの空間に。②窓辺のソファはこの家の特等席。ご主人もここで本や雑誌を開いてはくつろいでいるそう。③ダイニング横のベランダではプランタースタンドでハーブを栽培。ここなら水やりや収穫が生活の一部に。④黒いフレームがモダンな室内窓。風通しのいい縦軸回転は、どうしても採用したかったこだわりポイントだそう。



収納扉や引手の形ひとつまで自分好みに選んだことで、インテリアがさらに楽しくなりました。「雑貨や家具で楽しむのも好きですが、壁や床、建具などの細部が変わると空間のインテリアに奥行きが出ます。愛着も増しますね」

### 内装にこだわれば 空間全体が変わる

「マットグレーはカタログで見ている以上に雰囲気のある色と手ざわり。手持ちの家具や照明の黒ともすんなり調和し、この色にしてよかったと見るたびに思います」

「以前の家のキッチンは開放感に欠け、料理時は孤独でした。キッチンとダイニングが横並びのレイアウトに憧れていたんです」  
II型の配置や落ち着いたカラーに加え、使い勝手のいいセラミック天板や収納などすべての条件を満たしたキッチンは、「LIXIL「リシエルS」でした。」

使うたびにうれしい  
大満足のキッチンに